

大問一

問一 エ

問二 ア

問三 客観的に語ることができず、体感で伝えるしかないほど、おそろしく衝撃的な体験。

問四 おそらく客

問五 客観性にこだわるあまり、自分の感覚から生まれた考えと他人の視線を気にした正しさの間で思い悩むこと。

大問二

問一 カンナの引っこしが明日であることを思い出したが、家を知らないため会いに行けないし、またカンナが引っこしを喜んでいるだろうと想像して、残念な気持ちになっている。

問二すでに休業していたのに、見栄を張りたくて店を休むかもしれないという言い方しかカンナにしていなかったから。

問三 父親が店に立つ服装でキッチンに入る姿を見て、以前は店で父と二人で過ごしていたのに、今はできないということを実感し悲しくなったから。

問四 引っこしで気持ちが高ぶって話をする自分に対して暗い表情でいるアオイを気づかって、貧困から脱出できる喜びなど理解できないよねと謝った

問五 ウ

大問三

- ①障害
- ②土俵
- ③俳優
- ④調停
- ⑤旅費
- ⑥復興
- ⑦欲望
- ⑧裏
- ⑨縮む
- ⑩拾う